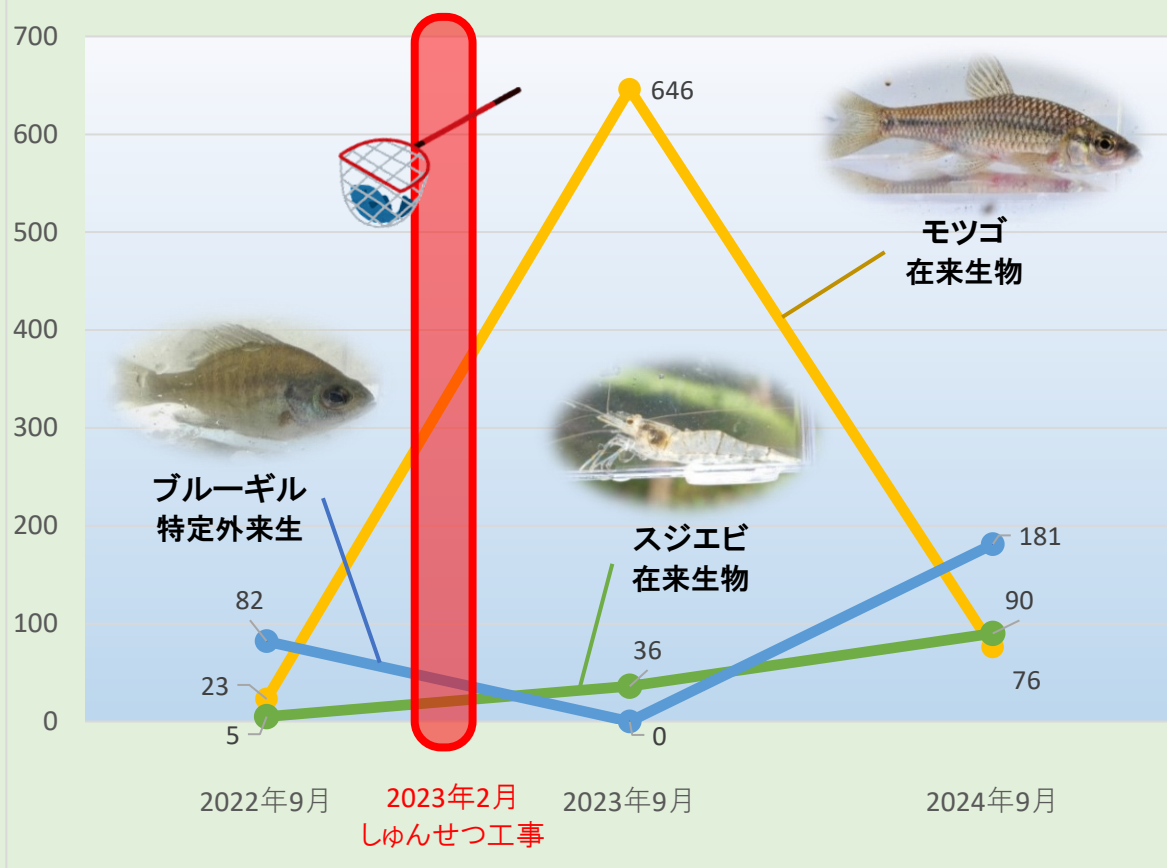


有栖川宮記念公園池 2024年度生物調査ニュースレター



2022年～2024年の3年間で、大きな変化が現れました

主な池の生物3年間の変化（9月の捕獲データ）



年毎のトラップの数や作業員数が異なるため、捕獲数による単純比較はできませんが、目安として比較してみました。

2023年2月

しゅんせつ工事

池の水を抜き底に溜まった泥を取り除きました。その時に生態系に悪影響を及ぼす外来生物を駆除しました。

- ・ブルーギル 2534匹
- ・アカミミガメ 68匹
- その他、ヨーロッパオオナマズ、アメリカザリガニなど。

2023年9月

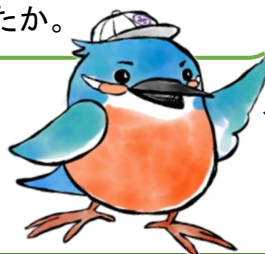
- ・ブルーギルがゼロに
- ・在来生物のモツゴが増加

原因は？
ブルーギルがいなくなり、捕食圧が低下したためモツゴが増えたか。

2024年9月

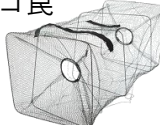
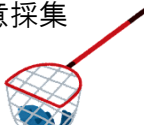
- ・ブルーギルが再び増加
- ・在来生物のモツゴが激減

原因は？
モツゴを襲う他の生物が増えて食べられた。
人に獲られたなど…



生態系は複雑なので、原因の特定は出来ていませんが、来年もモニタリングを継続します！

2024年度調査で確認した主な生き物

種 名 捕獲方法		在来種					外来種					合計
		モツゴ	クロダハゼ	スジエビ	ヌマエビ	メダカ	ブルーギル	ウシガエル	アメリカザリガニ	グッピー	バタフライナグ	
カゴ罟  34.6%	6月	144	3	16					5			168
	7月	282	2	14				1	58			357
	9月	66	2	7			29		2		2	108
	10月	20		2			8					30
	小計	512	7	39	0		37	1	65	0	2	663
ペット罟  6.0%	6月	16	1	3	0		0	34	9	7	0	70
	7月	1		1			0	24	12	7	0	45
	9月	1	4	0	3		0	1	10	0	0	19
	10月	1	1	1			11	0	4	0	0	18
	小計	19	6	5	3		11	59	35	14	0	152
任意採集  59.40%	6月	-	-	-	-	-	10	254	56	2		322
	7月	-	-	-	-	-	0	56	77	1		134
	9月	26	96	85	27	20	163	20	93	28	5	563
	10月	4	26	7	3		55	3	6	7	14	125
	小計	30	122	92	30	20	228	333	232	38	19	1144
合計 	6月	160	4	19	0	0	10	288	70	9	0	560
	7月	283	2	15	0	0	0	81	147	8	0	536
	9月	93	102	92	30	20	192	21	105	28	7	690
	10月	25	27	10	3	0	74	3	10	7	14	173
	小計	561	135	136	33	20	276	393	332	52	21	1959

カゴ罟：6月（12地点）。7月以降（18地点）。設置後概ね1時間で回収。

ペット罟：2Lのペットボトルで作成。菖蒲園内（10か所）。カゴ罟と同時設置。

任意採集：主に外来種の駆除を目的に捕獲。実施月により捕獲作業数、時間は異なる。

-：捕獲しているが、カウントをしていない。

主な種の生育状況

在来種		外来種	
			
モツゴ	スジエビ	ブルーギル	ウシガエル
代表的な在来種。6、7月に、今年生まれた仔魚が多く確認されたが、9月以降は、急激に数を減らした。	2023年のしゅんせつ工事後、数が安定している。確認個体の多くが、菖蒲園内での任意採集によるもの。	昨年一時期見られなくなったが、今年は仔魚が確認されるようになった。大池で多く確認されている。	昨年から、急に個体数が増えはじめ、今年は6、7月に多くの幼生（オタマジャクシ）が捕獲された。



捕獲した
在来種は、全部
池へ戻したよ。

港区ホームページ「有栖川宮記念公園池の生物調査」

今までの調査結果やお知らせを随時更新中！ぜひご覧ください。

トップページ> 環境・まちづくり> 環境> 都市緑化・自然環境>
生物多様性>有栖川宮記念公園池の生物調査

